

「久御山町教育大綱（案）」パブリックコメント実施結果

令和8年3月

1 意見の募集期間

令和8年2月13日（金）～令和8年3月9日（月）

2 提出意見

(1) 久御山町教育大綱（案）について、あなたが思ったこと、感じたことなどのご意見（件数：4件）

ご意見	回 答
<p>・久御山町教育大綱（案）を拝読いたしました。給食費無償化などの支援策に感謝するとともに、本大綱案に掲げられた方針の実効性を高めるため、一町民として意見を提出いたします。</p> <p>1. 該当箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針(3)④「こどもの育ちを支える地域活動の推進」 ・基本方針(4)①「生涯にわたる学びの提供と多世代交流の促進」 <p>2. 意見および提案</p> <p>大綱案に示された「多世代が交流できる施設」の取り組みや、「高齢者が地域づくりの担い手として活躍できる環境」の整備は、大変素晴らしい理念であり、強く賛同いたします。</p> <p>この理念を具現化する具体的な施策として、共働き家庭が最も時間的余裕を失う夕方時間帯に、公民館等の社会教育施設を開放し、リタイア後のシニア世代と子どもが交流できる居場所を整備することを提案します。これは子育て支援と、高齢者の社会的孤立防止を同時に叶えるものです。</p> <p>しかし、この活動を地域住民の「無償の善意」のみに依存しては継続が困難です。「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」の精神の通り、行政には単なる「箱（場所の提供）」ではなく、実働を支える「仕組みやソフト面のインフラ」の構築に注力していただくことを強く願います。</p> <p>具体的には、行政が主体となって「有償ボランティアとしての制度化」および万が一の事故に備えた「包括的な保険の整備」を行い、住民が安心して地域</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりの担い手として活躍できる環境となるよう、高齢者を含めた多世代交流の促進は、重要な取組と考えます。また、「(3)②生まれ育つ環境に左右されない学習環境の充実」における「まなび塾やこども食堂など居場所づくり等の支援を行うことにより、こどもが地域とつながる場づくり」においても、地域における高齢者の力添えは必要です。 <p>こどもたちがその将来に夢や希望を持って成長していけるよう、まち全体「オール久御山」の取組につなげていきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こどもの育ちを支える地域活動の推進」などの施策の推進にあたっては、こどもたちを支えていただく方々が、安心して取組を進められる仕組みづくりも併せて検討してまいります。

の担い手となれる安全網を構築することを要望いたします。

ご意見	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年間教員を続けて、子どもと接することができる楽しさを感じつつ、日々の業務や保護者対応などに取り組んでいます。3年間しかいないですが、感じたことを挙げさせてもらおうと、久御山は町内での先生同士の交流がよくあるのかなと思いました。他の自治体を知らない私がいうのは違うかもしれませんが、夏の研修や交流会など、業務以外で他の学校の先生と交流できるのはすごく良いところだと思います。 久御山学園という取り組みを推進するのはとても難しいと思います。特に私は目の前の仕事が多くなると、そちらを優先させたいので、他の先生との交流は二の次になってしまいます。ですが、子どものより良い成長を考えた時、他の先生方の実践はとても参考になります。私自身、多くが他校の先生に助けられました。そういった先生に知り合えたのも、久御山町内で交流できる場があったからです。久御山学園という取り組みは難しいと思いますが、必要な人間にはとてもありがたい取り組みでした。 	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の各小学校の学級数が多くない中で、教職員の交流・連携は必要な取組と考えています。「未来に向け主体的に行動する教職員の育成」を大綱に掲げ、教職員の「働きやすさ」と「働きがい」に十分留意し、取組を進めます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1ページ「はじめに」4パラ2行目 「就学援助率の高さ」が課題であると出てきますが、「就学援助率」が何を指しているかが高いことが課題であるということが、知識がなく分からなかったです。一般向けにもう少し文章を追加してもよいのでは。 ・ 2ページ「(教育大綱の位置付け)」図で、第6次総合計画の「まちの将来像」には「共動 * 感動 * 躍動 のまちづくり」の文もセットが必要です。 ・ 2ページ「(教育大綱の位置付け)」図で、第6次総合計画と教育大綱、第6次総合計画とこども計画の間にも「整合」の矢印が必要と思います。 ・ 8ページ「④ こどもの育ちを支える地域活動の推進」(iii)に「総合体育館(各社会教育施設)」とありますが、「各社会教育施設」だけでよいのでは？ ・ 9ページ「①生涯にわたる学びの提供と多世代交流の促進」に、文化祭も触れておいてはいかがでしょうか。②には運動会やマラソンなど個別イベントについて触れているので。 ・ 必ずしも統一しなければならないとは思いませんが、「安全・安心」と「安心安全」が混在しています。総計は「安全・安心」で統一しています。 	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「就学援助率の高さ」については、「(生活困窮世帯率)」を追記します。 ・ まちの将来像に「共動 * 感動 * 躍動 のまちづくり」を追記します。 ・ 上位計画である「総合計画」に対して「方向性に沿う」としています。 ・ 総合体育館をわかりやすく例としてあげています。 ・ 「講座やイベント等」の前に「町民文化祭をはじめ」を追記します。 ・ 「安全・安心」で統一します。

ご意見	回 答
<ul style="list-style-type: none"> 基本方針（１）の⑤で、「主体的に行動する教職員」とありますが、少し漠然とした表現なので、「主体的に学び続ける教職員」とした方が良いのではないかと思います。 基本方針（３）の④で、「地域活動の推進」とありますが、「地域との連携・協働」とした方が、（i）～（iv）の内容をまとめた表現として適切ではないかと思います。 	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学び」ととどまるのではなく、あらゆる場面で行動できる、「生きる力」を実践できる教職員をめざしていただきたい想いです。 「推進」として、新たな活動や環境づくりにつなげていきたい想いです。

（２）この教育大綱（案）を読んでいただき、こどもたちのため、あなたはどのような取組が必要と思われたか（件数：２件）

ご意見	回 答
<ul style="list-style-type: none"> 大綱案に示された「キャリア教育の推進」を、さらに一歩進めた「地域の社会人による『リアルな課題解決スキル』の伝授」という取組が必要だと考えます。これからの社会を生き抜く子どもたちには、単なる知識の暗記だけでなく、社会の複雑な問題を解きほぐす力が求められます。例えば、大きな課題を細分化し、スケジュールを「準備」「実行」「情報伝達」などのタスクに切り分けて処理する管理能力や、モノや情報のボトルネックを解消するシステム思考などです。これらは、現場の最前線で働く大人たちが日々活用している「生きたスキル」です。 大綱には中学生に向けた学習支援「ゆめ☆スタ Weekly」などの事業がありますが、こうした場に、地域で働く民間企業の人間がゲストとして参加し、実社会のリアルな思考法を教える機会を設けてはいかがでしょうか。「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」の言葉通り、まずは地域の大人自身が、自らの専門知識や仕事の面白さを教壇で「やってみせる」ような、オープンで実践的な教育プラットフォームの構築を提案します。 	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「キャリア教育」と併せて、「自らの人生を舵取りできる力」として、「しなやかに生き抜く力」を掲げています。また、「地域の力を活かした自然体験やものづくり体験などを通して、…持続可能な社会の形成に参画できる態度を育みます。」も掲げる中で取り組んでまいります。 ご意見のとおり、ものづくりのまち久御山町において、地域の企業の方々は非常に大切な存在です。「一人ひとりの未来の魅力化を図る教育環境の推進」において、こどもたちがその将来に夢や希望を持って成長していけるよう、まち全体「オール久御山」で支援する取組を進めます。
<ul style="list-style-type: none"> 地域の宝であるこどもが、きらきらと輝けると良いな、と思いました。将来を担うこどもたちが明るい未来を思い描くには、まず私たち大人も輝いていられるようにしたいと思います。 	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「一人ひとりの未来の魅力化を図る教育環境の推進」において、こどもたちがその将来に夢や希望を持って成長していけるよう、まち全体「オール久御山」で支援する取組を進めます。

